

2026 大分大会

大会参加報告 | 茨城県立水戸第二高等学校 PTA

大会概要

開催日 2026年8月20日（木）・21日（金）

会場 大分市・別府市／主会場：ピーコンプラザ

テーマ 「湯ごころ 真ごころ 親ごころ」
～ 輝く未来を切り開け～

参加者 PTA会長 長谷川 PTA副会長 佐藤
正木校長 梶山教諭



全国の仲間と学び、子どもたちの未来を支えるPTAへ

2026年8月20日・21日の2日間、大分県で開催された全国大会に参加しました。初日は5つの分科会で各地の実践や課題を共有し、2日目は全体会、表彰式、記念講演等を通して、これからのPTAに求められる役割について学びを深めました。



大会横断幕



2026大分大会ポスター



全体会会場の様子

感想・学び

全国各地から集まった参加者の発表や意見に触れ、地域や学校の規模、抱えている課題は異なっても、「子どもたちのより良い成長を支えたい」という願いは共通していることを強く感じました。社会環境や価値観が大きく変化する中、従来の方法が続けるだけではなく、活動の目的を丁寧に確かめ、参加しやすく持続可能な形へ見直していく必要があります。また、子どもの主体性や挑戦する気持ちを育てるためには、大人が先回りして答えを示すのではなく、対話を重ね、失敗も学びとして受け止めながら見守る姿勢が大切だと改めて学びました。保護者と教職員が互いの立場を尊重し、率直に意見を交わせる関係こそが、生徒の安心と成長を支える土台になると感じました。

これからのPTA活動へ

今回得た学びを本校PTA活動へ持ち帰り、まずは活動の目的と成果を分かりやすく共有し、保護者が無理なく関われる運営を進めていきます。行事の実施自体を目的とするのではなく、生徒にとってどのような価値があるのかを基準に検討し、必要に応じて内容や役割分担、情報発信の方法を見直します。さらに、学校との定期的な対話を大切に、生徒や家庭が抱える課題を早めに把握できる関係づくりを目指します。地域とも連携しながら、多様な経験や学びの機会を広げ、生徒一人ひとりが安心して学び、自分らしく挑戦できる環境を整えていきます。今回の大会を一度きりの研修で終わらせず、役員間で内容を共有し、できることから具体的に実践・検証することで、より開かれ、信頼されるPTA活動につなげていきたいと思います。

大会テーマを胸に、次の一歩へ

家庭・学校・地域が思いを重ね、子どもたちの「輝く未来」を支えるため、対話と協働を大切に活動してまいります。